

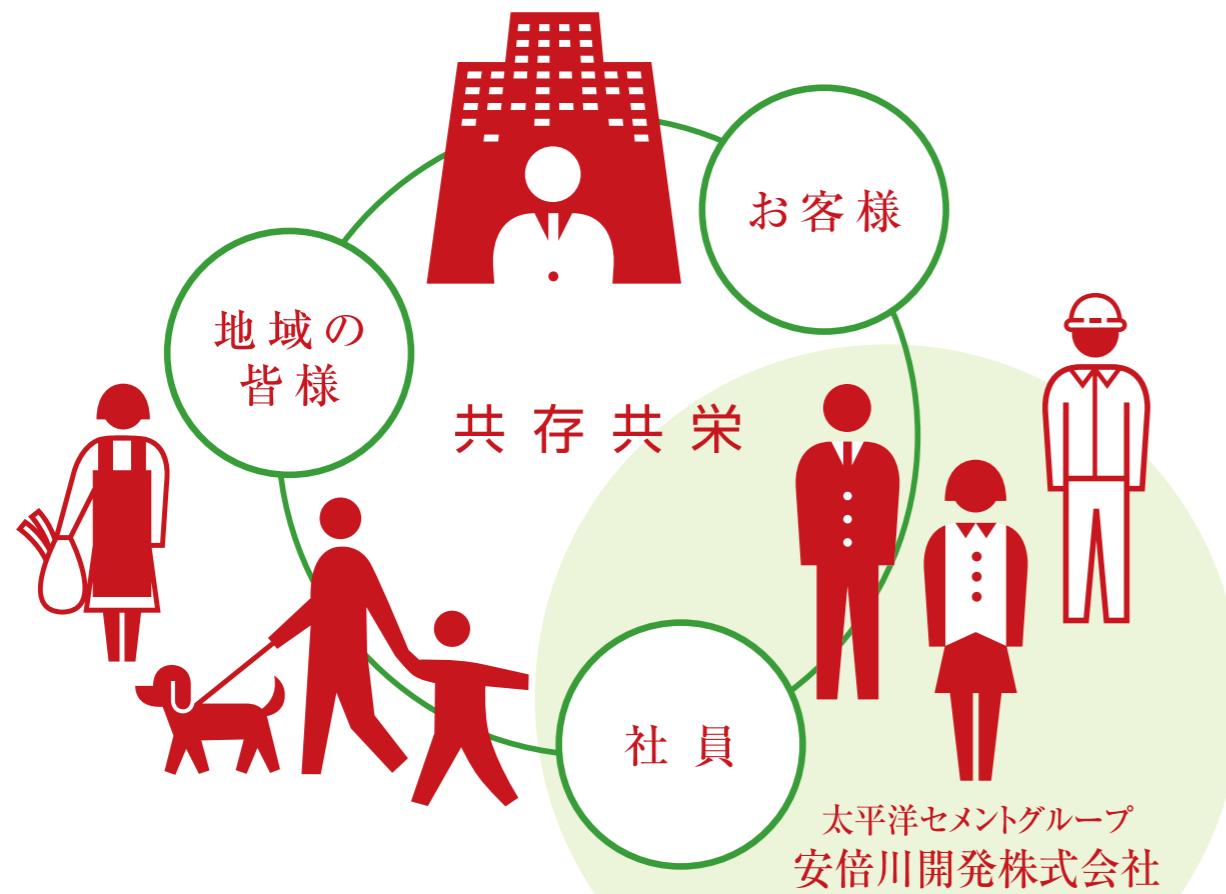
# ABEKAWA KAIHATSU CO,LTD



<http://www.abekawa-dv.co.jp/>

ともにみらいに





### 太平洋セメントグループの総合力を發揮します!

安倍川開発株式会社は、日本最大手のセメントメーカー『太平洋セメント』グループの一員です。太平洋セメント株式会社では、セメントをはじめ、資源や環境、不動産など、多彩な事業を展開しています。今後も太平洋セメントグループとしての総合力を發揮し、企業価値の最大化を目指します。

### ともにみらいに

- 私たち安倍川開発は、昭和26年以来、10年後、20年後という次世代へ引き継ぐ息の長い「ものづくり」をしている会社です。
- 私たちは、道路やビル、橋などの建設に欠かせないコンクリートの骨材(砂・砂利・碎石)を安定供給してきました。
- 私たちは、皆様から信頼される良質な製品を供給してきました。
- 私たちは、環境影響の無い採掘・生産・出荷をするとともに、社会貢献に努め、地域の皆様の信頼を得てきました。

これからもこの考えを継承し、太平洋セメントグループの一員として、あらたに定めた行動指針の基、お客様、地域の皆様とともに、社員全員で未来へつなぐ「ものづくり」を進めてまいります。

### 経営理念

安倍川開発は、太平洋セメントグループの一員として、持続可能な地球の未来を拓く先導役として、未来に向かって限りなく挑戦し続け、地域社会・顧客・社員の共存共栄の道を歩みます。

### 行動指針

- 永続的な発展に向け、経営資源を集中し、企業価値の最大化を目指します。
- 広く地域社会とコミュニケーションを行い、調和に努めます。
- 法令を遵守するとともに、社会の良識に則って対応します。
- 技術の更なる向上に努め、優れた商品を安定供給します。
- 地域社会へ貢献し、信頼される企業づくりを目指します。
- 事業環境の変化に即応し、柔軟な発想と行動で対応します。
- 一人ひとりが社内外に通用する人材となることを目指します。
- 人権を尊重し、安全で健康な職場づくりに努めます。

### 主要事業

主に、コンクリート用の骨材を製造・販売しています。骨材の取扱量は、年間約476万トン(19年度)、その骨材として、「砂」「砂利」「碎石」などの品質の確保と安定供給に努めています。

骨材(こつざい)とは、コンクリートをつくる時、セメントと水と一緒に混ぜ合わされる砂や砂利のことです。コンクリートの強度を左右する重要な材料です。道路のようにアスファルトを使用して砂や砂利を固めて、舗装する場合などにも使われます。

#### ◎主力取扱製品

細骨材	砂(5mm-0mm) 碎砂(5mm-0mm) ブレンド砂
粗骨材	25mm 砂利(25mm-5mm) 碎石2005(20mm-5mm) 碎石5号(20mm-13mm) 碎石6号(13mm-5mm)
その他	ズリ・各種クラッシャーラン等



## 品質管理

### 品質内外の検査でお客様に喜ばれています。

コンクリート骨材の品質は、JIS規格により細かく定められております。骨材を安心して使用してもらうため、社内試験室を設置し、品質検査を実施しています。

また、社外の検査機関での定期的な骨材試験とアルカリシリカ反応性試験を実施しています。



試験室内部

骨材粒度分布を調査する、ふりわけ試験は製品ごとにを行い、試験データが生産工程に役立ち、お客様に信頼される品質管理を行っています。



骨材試験室

各プラントに骨材試験室を設置し製品の品質を管理しています。



試験室内部

同じ山から掘削しても原石の性状は一定ではありません。品質管理は当社にとって重要な業務です。

## 安定供給

### 設備管理の強化と資源確保で安定供給を実現しています。

コンクリートの約80%は骨材が占めています。この骨材を安定的にお客様へ、供給するために、日々プラント設備のメンテナンスと長年培った技術力によって、安定生産を確立しています。



ボールミル

砂利を破碎して付加価値の高い砂を生産し、安定供給を実現しています。



サンドクリーン

コンクリートの強度に影響を及ぼす泥分や微粒物を洗い落とし、砂を生産しています。

## 生産工程

### 原料採掘から製品出荷まで環境・安全に重点を置いた管理をしています。



原石掘削

山の掘削は法令で定められた認可申請を行い、その採取計画に従って行っています。



原石運搬

ブルドーザとパワーショベルで掘削した原石は、ダンプトラックでプラントまで運搬します。



原石ホッパー投入

採掘した原石をプラントに投入します。



トロンメル・第一次選別

投入された原石は、トロンメルにより粗骨材と細骨材に分けられます。



集中操作室

プラントの稼働状況が一目で分かる集中管理室で操作します。



砂生産・ストック場

サイズごとに洗浄・選別された製品はベルトコンベアで運ばれ、ストックしています。



製品積込

製品の出荷では、ホイルローダーによりダンプトラックに積載し、運搬しています。



計量出荷

出荷する製品の重量はトラックスケールで計量を行い、納品伝票と一緒にお客様へお届けしています。



## 環境負荷軽減

**細心の配慮をしていきます。**



**茶畠**  
採取跡地は茶畠、畠などの農業用地として復元しています。



**道路の清掃車**  
ダンプの安全輸送と共にダンプ道路や周辺道路の清掃を行い、環境美化に努めています。



**緑化植樹**  
採取跡地は植樹により緑化して土地の所有者に返還します。

## 地域と連携

**地域の皆様の理解を得るために、地域とのコミュニケーションを強化しています。**

私たちの事業は地元地域の方の協力や理解が必要不可欠となっています。

地域の方々への感謝とコミュニケーションを大切にして事業を進めています。

地域の行事への参加(溝掃除・祭典等)また、地元幼稚園への砂提供などを行い、園児に喜ばれています。



**公園に活用**  
採取跡地は公園などに活用され、子供たちの遊び場として喜ばれています。



**プラント見学会を開催**  
地元の人たちの理解を得るため、定期的に掘削地やプラントの見学会を開催しています。



**砂場用の砂**  
公園や幼稚園の砂場としても使用されています。





営業、生産、総務：  
幅広い分野で活躍する  
社員の仕事ぶりと  
ナマの声をお伝えします。



川口 貴弘 平成8年4月入社

砂や砂利は、あらゆる建築物に欠かせないものなので、いつどこにいても身近に感じられる仕事です。

東京支店で営業をしていた時、自分が仕入れてお客様に提供した製品が、六本木ヒルズや汐留、レインボーブリッジなど、目に見える力タチになった時は、とても感動しました。やがて生まれてくるわが子にも自慢できますよね。

また、長く勤めている社員が多いのも特長です。この業界は休みが不規則になりがちですが、当社の場合、土日祝、きっちり休みがとれるし、残業も少ないので、家族との時間が十分に持てます。将来設計にも夢が広がります。



佐藤 憲司 平成10年4月入社

大学で資源工学を専攻していたことから、専門的な知識が活かせる安倍川開発に入社しました。

現在は、各事業所の原価管理や、採掘の効率化を図るための採掘設計などを手がけています。基本的にはデスクワークがメインですが、問題点があれば、各事業所に出向いてアドバイスをすることも。成果が数字となって表れるので、達成感は十分です。

安倍川開発は、やりたいことができる会社。従業員52名と会社の規模としてはあまり大きくありませんが、その分、声や思いがトップへストレートに届きます。また、いろいろな分野をオールマイティにこなしていく中で、自分の能力を発掘&発揮できる会社です。



河守 のり代 平成4年4月入社

いちばんの魅力は、人間関係に恵まれていること。居心地のいい会社です。

入社してから「育児休暇」を利用して、2人の子どもを出産しました。1年以上のブランクを経て職場復帰する際は不安もありましたが、皆さん、あたたかく迎えてくれました。

実際、制度があっても利用しづらいのが現状ですが、当社の場合、育児休暇の利用は会社が勧めてくれたこと。子どもの病気で早退や遅刻をする時も、気兼ねなく有休をとることができます。後輩の女性社員も、育児休暇を利用して出産しています。女性が仕事と子育てを両立しながら働く会社です。



植田 準也 平成21年4月入社

入社してから半年間は品質管理の試験を勉強し、その後生産、営業を経て再び生産現場に配属され現在、生産管理の業務を行っております。建物、道路すべてのものに使われる骨材を安定供給することを第一に考え、営業で学んだ経験を活かし、お客様の求めるニーズに応えられるよう日々問題解決に取り組んでいます。

当社は、ひとつの業務だけではなく、会社に関する営業、生産、総務の各分野のすべてに携わることができます。部署移動するごとにゼロからのスタートとなるので大変な事もありますが、新しい経験をすることでやりがいを感じます。ひとつひとつ経験を自分自身のスキルアップに繋げ、自分の考えを持って行動することが大事だと感じています。



石牧 卓己 平成27年4月入社

入社当時から生産現場に配属され、品質管理や配車業務を任せられました。仕事を覚えるまでは、とまどいもありましたが骨材の試験方法を覚えることで製品知識を学び、業務内容を理解することで円滑なダンプの運行管理が出来るようになりました。最近では役所関係や取引先との関わりも増え、営業業務も任されるようになりました。

日々の業務は大変ですが、時に優しく時に厳しい先輩方の指導を頂き、自分自身成長している実感があります。

社内の雰囲気も良く年齢差はありますが、気さくな方が多く、仕事もプライベートも充実しており、休暇もとりやすい職場です。

これからも安倍川開発の社員として責任を持ち会社発展に貢献できるよう努力したいと思います。



# 商品の安定供給を実現する 全国に広がる信頼のネットワーク

太平洋セメントグループのネットワークと、  
当社の北は福島から南は愛知まで、  
東北・関東・東海に広がるネットワーク網により、  
一層お客様が求める品質と  
安定供給を考えた体制の充実に  
努めています。



⑨田原事業所



⑥東海事業所・掛川事業所



⑬新地鉱産(株)



⑪奈良輪骨材センター



①本社



⑦浜松事業所

- 会社概要**
- 創立／昭和26年(西暦1951年)9月13日
  - 資本／2億円(授権資本8億円)
  - 株主／太平洋セメント株式会社
  - 従業員／60名
  - 営業種目／コンクリート用骨材・道路用骨材等の生産販売  
残土受入事業、競馬場用砂の生産販売  
セメント・生コン等建設材料の販売  
健康食品その他の販売
  - 取引銀行／静岡銀行・用宗支店、三井住友銀行・静岡支店  
清水銀行・静岡支店

## 事業所一覧

- ①本社  
〒421-0112 静岡県静岡市駿河区東新田四丁目9番37号  
TEL.054-259-3126(代) FAX.054-257-0313
- ②東京事務所  
〒135-0042 東京都江東区木場2-8-3 第一びる西館9階  
TEL.03-5809-8335 FAX.03-5809-8352
- ③東海支店  
〒436-0014 静岡県掛川市岩井寺字藤沢558  
TEL.0537-23-8900 FAX.0537-24-7658
- ④東京支店  
〒135-0042 東京都江東区木場2-8-3 第一びる西館9階  
TEL.03-5809-8351 FAX.03-5809-8352
- ⑤東北支店  
〒979-2611 福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字大沢北1  
TEL.0244-62-3612 FAX.0244-62-4429
- ⑥東海事業所・掛川事業所  
〒436-0014 静岡県掛川市岩井寺字藤沢558  
TEL.0537-24-3953 FAX.0537-24-7658
- ⑦浜松事業所  
〒438-0234 静岡県磐田市掛塚字竜光寺3429  
TEL.0538-66-1700 FAX.0538-66-1594
- ⑧大須賀事業所  
〒437-1302 静岡県掛川市大渕11571番1  
TEL.0537-48-0800 FAX.0537-48-6101
- ⑨田原事業所(旧 田原鉱産株式会社)  
〒441-3421 愛知県田原市田原町井戸沢20-2  
TEL.0531-22-0082 FAX.0531-23-2700
- ⑩三河骨材センター(旧 三河営業所)  
〒441-3401 愛知県田原市緑が浜4号1-3  
TEL.0531-22-4828 FAX.0531-22-3912
- ⑪奈良輪骨材センター  
〒299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖49  
TEL.0438-60-7871 FAX.0438-60-7872
- ⑫千葉骨材センター  
〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港196  
TEL.043-242-0211 FAX.043-247-6528

## 関係会社

- ⑬新地鉱産(株)【本社・新地事業所】  
〒979-2611 福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字大沢北1  
TEL.0244-62-4505 FAX.0244-62-4429
- ⑭新地鉱産(株)【広野事業所】  
〒979-0404 福島県双葉郡広野町大字折木字東下2  
TEL.0240-28-0561 FAX.0240-28-0562
- ⑮千葉開発(株)  
〒299-1732 千葉県富津市宇藤原587  
TEL.0439-68-1235 FAX.0439-68-0480